



祝

敬老だより

第5号 令和8年9月

ごあいさつ



敬老の日を迎えるにあたり、心からお祝い申し上げます。また、長年にわたり、ご家族や地域社会のためにご尽力をいただいている皆様に、心より感謝申し上げます。

人生百年時代が到来している昨今、全国の100歳以上の高齢者数は約10万人となり、過去最多となっております。今後も皆様の声を大切にしながら、誰もが安心して健やかに暮らすことのできるまちづくりを進めてまいります。

結びに、皆様の益々のご活躍を期待申し上げるとともに、ご健康とご多幸を祈念いたします。

鴻巣市長 並木 正年



敬老の日を迎えるにあたり、心よりお祝いを申し上げます。

皆さまには、長年にわたり地域の発展と豊かな社会づくりにご尽力いただきましたことに、深く敬意と感謝申し上げます。

これからも、培われた豊富な経験と知恵をもって、次の世代を温かく見守り、お力添えをいただければ幸いです。

議会といたしましても、誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくりに一層努めてまいります。

鴻巣市議会議員 川崎 葉子

地域で活躍する皆さんをご紹介します！



みとも
三友 モト さん
(宮前)

いくつになっても 学び続けることの 大切さ

90 歳を超えた今も大好きな趣味に情熱を注ぐ三友さん。リビングには編み物をはじめ革工芸や水墨画、新聞ちぎり絵、塗り絵、ドライフラワーなどこれまで挑戦してきた作品が数多く飾られています。

「とことんまでやらないと気が済まないの♪」とおっしゃる通り、塗り絵ひとつをとってみてもたくさんの色を重ね塗りして表現を楽しんでいます。また 50 歳から始めたという大正琴も指導者として教室を立ち上げ、約 30 年間にわたって演奏を続けてきたそうです。本気で学び続けるってカッコイイ。



やまだ やすまさ
山田 康正 さん
(本町)

学生時代に 熱中したクラ シックギターを もう一度

山田さんが所属する「松原ギターアンサンブル」はあたご公民館を拠点に活動するクラシックギターのサークルです。現在は男女 8 名が参加し、毎月第 2・第 4 土曜日の午後

に集まって練習しているそうです。「うちにはいわゆるリーダーみたいな人がいなくて、みんなそれぞれ自分の得意分野を生かして教え合っているのが良い」と山田さん。和気あいあいと楽しみながら演奏している様子が目に浮かびます。10 月 25 日（日）午後 1 時 30 分から吹上生涯学習センターでコンサートを計画中。



皆様のご来場をお待ちしています▶



ひだか まさひろ
日高 正洋 さん
(神明)

人並外れた 気力と体力。 話術が冴える マジックも

「使わない機能は衰える、使い過ぎると壊れる」を心構えに毎日 1 万歩。土日はテニス、鴻巣パンジーマラソンにも毎年参加しています。また認知機能保持のため古希を過ぎてからマジックを習い始め、介護施設、児童クラブ、町内会、サロンなどで披露しています。その他、埼玉古墳群のガイドや鴻巣市の生涯学習推進実行委員も務めさせていただき、少しでも何か役に立つなら望外の幸せです。スケジュールの合間を縫って日本 100 名城®スタンプラリーにも挑戦中！

・多芸多彩な日高さんより寄稿いただきました



たなべ やすじろう
田邊 康次郎 さん
(松原)

男性だって お茶をしながら おしゃべりする 憩いの場が必要

高齢男性を対象にした居場所づくりの必要性を訴えたのは当時自治会長を務めていた田邊さん。定年退職した男性が地域で孤立してしまうことを課題として感じていたようです。前例がなく当初はな

かなか人が集まらなかったそうですが、奥さまのサポートもあり「大栄ふれあいカフェ」は来年で 10 年目を迎えます。「現在の会員数は 25 名、そのうち 8 割はパークゴルフにも参加しています」と、趣味や生きがいくくりにもつながっているようです。みなさん表情が生き生きしますね。





かめやま かずお
亀山 一雄 さん
(榎戸)

その笑顔が 物語る ソフトボールの 魅力

「ソフトボール人生 50 年」そう振り返るのはさわやかな笑顔が素敵な亀山さん。学生時代は陸上の長距離走の選手で、ソフトボールに出会ったのは会社勤めをするようになってから。近所の公園で楽しそうに試合をする人たちを見かけ、その瞬間に仕事の疲れが消えていくのを感じたそうです。それから 50 年、今では鴻巣市ソフトボール協会の会長を務め、競技の楽しさを発信しています。現在は 2026 年 11 月に鴻巣市で開催されるねんりんピック彩の国さいたま 2026 ソフトボール交流大会に向けて奔走中！



みとも いくよ
三友 幾代 さん
(大間)

リハビリも楽し く前向きに！ 「デイは面白い です」

「編み物をやっているとなんか夢中になって時間を忘れちゃうの」と目にもとまらぬ速さで手を動かし続ける三友さん。4 年前に大きな病気を経験し、リハビリをきっかけに子どもの頃から慣れ親しんだ編み物を始めたそうです。小さな花飾りがついた買い物バッグや真っ赤なスマホホルダー、ラメ入りの糸で編んだストラップなど、いまだきの色合いとデザインがデイケアのスタッフやご家族にも大好評。どんなときも楽しみを見つけて好きなことに夢中になれるって素敵です。



おかざき かずこ
岡崎 和子 さん
(神明)

人生を変えた 和紙絵との 出会い

和紙絵（わしえ）とは、和紙特有の風合いを生かした日本の伝統的な表現手法です。岡崎さんが和紙絵をはじめたのは今から約 20 年前のこと。寄居の工房で故・佐藤香石先生作品を見たときに「これだ！」と直感が働いたようです。仕事をするかたわら工房に通い続け講師の資格を取得。国内はもとより海外にも赴き指導するなど精力的に活動してきました。現在も毎月第 2 土曜日に教室を開き、和紙絵の魅力を発信。「まるで油絵のよう」と評される岡崎さんの作品は一度見たら忘れられません。



さか いさお
坂 勲 さん
(神明)

母に感謝。 妻に感謝。 家族があつてこ そ今の私がいる

「おはようございます！」鴻巣北小学校の通学路には毎朝子どもたちの元気な声が響きます。自主防犯パトロールのボランティアとして、また令和 2 年度からはスクールガード・リーダーとして子どもたちが安心・安全に学校へ通えるよう毎日通学路で見守りをしています。「子どもや孫がお世話になっている学校のために役立つことをしたい」「次の世代を担う子どもたちをなんとか育てていきたい」そう語る坂さんの眼差しは家族や子ども、地域を思うやさしさでいっぱいです。



えはら さだお
江原 貞雄 さん
(吹上本町)

フレイルに 負けない 体づくりを めざして

優れた職員・リーダーのもとで行う「体づくり」「脳トレ」等が自分化出来ることに共感。高齢者を対象にした事業に積極的に参加しています。地域住民との価値観の共有やコミュニケーションを図る

等して、多くの友達が出来た事が唯一の宝です。

また、我々世代が培って来た昭和の知識・技術等が通用しなくなった令和の社会の環境に抗う事無く、現状を肯定しつつも「人としてのありよう」を堅持して、これからの生活をポジティブに歩んで行きたいと思っています。

・吹上のサロンに通う江原さんより寄稿いただきました
・地域包括支援センター吹上苑さまよりご推薦いただきました
介護予防教室・吹上苑 仲間みなさん▶



おざわ いきこ
小澤 五木子 さん
(下忍)

大好きな おかあさんへ 「長生きして くださいね」

自慢のおかあさんをご紹介いただきました！ 20代半ばまで洋裁学校の先生をしていたという小澤さん。95歳になった今もお洒落を楽しんでいるようです。「赤いものを身につけると気持ちがパツ

と明るくなるの」「着るものによって活動力が違います」と説得力のあるお言葉です。ご自宅には百貨店で買った洋服や自分で作った洋服などお気に入りの洋服がたくさんあるそうで、「着ないで死ぬのはもったいないから毎日違うものを着よう」と人生を楽しむその姿が素敵です。

花久の里にて▶



い がらし
五十嵐 ヒノ さん
(人形)

一途に愛した 編み物と家族の 存在

編み物の技法を生かして立体的な作品に仕上げる“あみぐるみ”を披露してくれたのは、鴻巣市内で45年にわたって編み物教室を開いてきた五十嵐さん。「編み物は私にとって一生ものの仕事です」

と語るその表情はしあわせでいっぱいです。またお子さんのために編んだニットの服や、教室を陰で支えてくれたやさしいご主人の存在など、編み物と愛するご家族にいつも囲まれているそうです。米寿を迎えるおかあさんと娘さんとで記念写真を一枚。いつまでも仲良くお元気でお過ごしください。



敬老の日、おめでとうございます。

9月21日はご家族、地域で
ご長寿をお祝いしましょう。



〒365-8601 埼玉県鴻巣市中央1番1号

電話：048-541-1321 FAX：048-542-9818